



「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の推進

なくそう犯罪通信

平成23年5月号

発行・編集

広島県警察本部
安全安心推進課
〒730-8507
広島市中区基町1-4
TEL 082(228)0110
FAX 082(222)7902

自主防犯活動の促進

「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動に取り組んできた結果、県民の防犯意識の向上とともに、防犯ボランティア団体参加者の増加により自主防犯活動が活性化し、「地域の安全は地域のみんなで守る」という取組が広がりを見せています。こうした取組は、治安回復の大きなカギとなっていますので、引き続きご協力をお願いします。

防犯ボランティア団体の現状

県内における防犯ボランティア団体は、昨年末で825団体(51,854人)となっています。これは、「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動を始めた平成14年と比べ、776団体(49,222人)増加しています。

特に昨年は、県内9大学の学生等49人で構成する防犯ボランティア団体「スリーアローズ」が結成されるなど、若い世代のボランティア活動への参加が見られます。

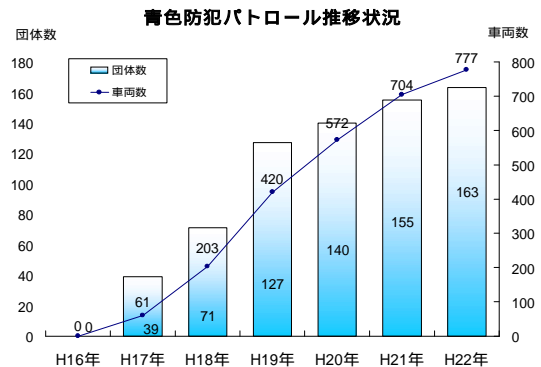
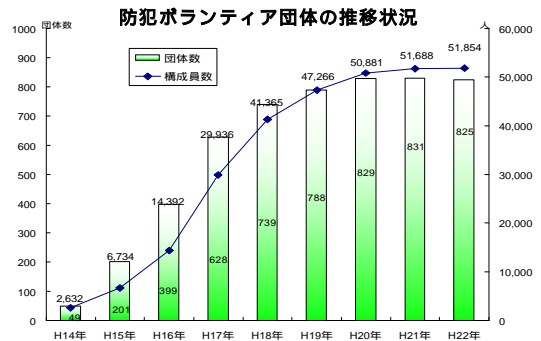
青色防犯パトロールの現状

平成16年から導入された青色防犯パトロール車は、昨年末で163団体777車両に増加しています。

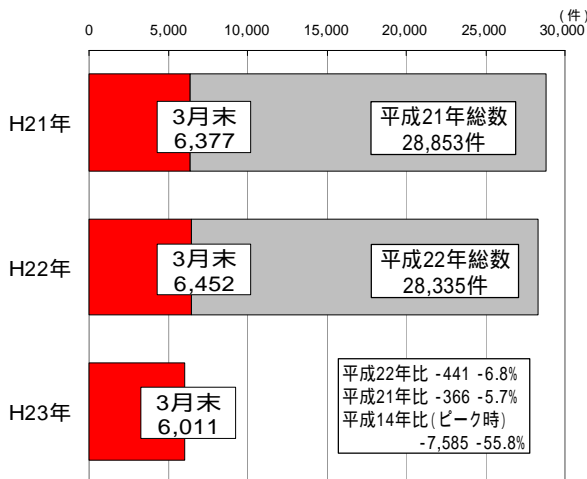
主な活動は、子どもの登下校時の見守り活動や夜間における防犯パトロール等、地域の安全・安心なまちづくりの実現に向けた防犯活動をすすめています。

職場防犯リーダー事業所

県警では、平成22年から事業所の協力を得て「職場防犯リーダー」制度を行っています。職場内で、犯罪・防犯情報を共有し、事業所内はもとより、職場から家庭、家庭から地域の隅々まで、防犯意識の高揚を図り、防犯の輪を広げています。



県内の刑法犯認知状況 (H23.3末現在)



県内の交通事故発生状況(H23.3末現在)

死者数が、前年の同じ時期より9人減少しています。死者数に占める高齢者死者数の割合は52%です。(全国平均51.3%)

区分	H23.3末	H22.3末	前年対比		
			増減数	増減率	
事故件数	3,755件	3,879件	-124件	-3.2%	
死者数	25人	34人	-9人	-26.5%	
負傷者数	4,716人	4,841人	-125人	-2.6%	
高齢者	事故件数(1当+2当)	1,074件	1,088件	-14件	-1.3%
	死者数	13人	8人	5人	62.5%
飲酒	事故件数(1当)	22件	37件	-15件	-40.5%
	死者数	1人	1人	0件	0.0%

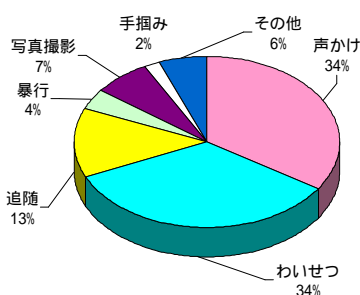
子どもを対象とした性犯罪等の現状について

本年3月末の県内における中学生以下の子どもを対象とした不審者情報等の把握数は155件で、昨年同期比より3件減少しています。

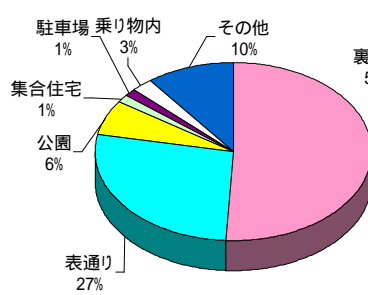
発生の傾向は、下記グラフのとおりで、事案種別では、「声かけ」及び体を触ったり、下半身を露出する「わいせつ」がそれぞれ約34%、「追従(つきまとい)」が約13%です。発生場所では、「路上(裏通り)」が最も多く約52%、「路上(表通り)」が約27%、「公園」が約6%となっています。また、被害時の行動別では、「下校中」が最も多く約43%、「帰宅中」が約14%、「登校中」が約11%です。

登下校中における道路では特に注意して下さい。子どもは、保護者と一緒に身の回りの環境を観察し、話し合うことで、どこが安全でどこが危険かをより深く認識できるため、子どもと一緒に通学路や公園、近所の商店街など、子どもの活動エリアを一緒に確認しましょう。

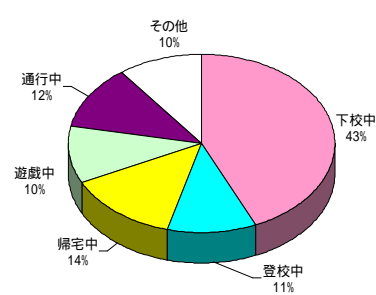
【事案種別】



【発生場所】



【被害時の行動別】



春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動が5月11日(水)から5月20日(金)までの10日間実施されます。運動のスローガンは「あぶないよ いそぐきもちが じこのもと」です。また、運動の基本は、「子どもと高齢者の交通事故防止」で、運動の重点は、自転車の安全利用の促進、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、飲酒運転の根絶です。県民一人ひとりが交通ルールを守り、交通マナーを実践するなど交通事故に遭わないようにしましょう。

平成23年-平成27年

なくそう**犯罪** ひろしま**新**アクション・プラン
～犯罪の起こらない社会へ～

運動目標

日本一安全・安心な広島県の実現

行動目標

これまでで最も被害の少ないまちを目指す
子ども・女性を犯罪から守る

